

陰進

週刊

2024年 6月 第1週

発行元 最前線

anarcho_clitorist@gmail.com
担当・記事 仁科 夏瑚
記事 パノプティコンの真ん中にいる人

保存用 紙版

1ヶ月 500円

月毎に郵送いたします。
詳細は上記連絡先まで

「自立」と「協力」のもとに集え

クリトリスはアナーキストである！

カトリーヌ・マラプー
『抹消された快楽 クリトリスと思考』より



徒党
陰核派

阪大 数十年ぶり学生デモ パレスチナ連帯スタンディング



▲大阪大学豊中キャンパス「総合図書館前」の様子

去る五月三〇日、大阪大学・豊中キャンパスに「Free Free Palestine(パレスチナに自由を)」と叫ぶ、数十人の声が響いた。このキャンパスがシュプレヒコールを聞いたのは、果たして何十年ぶりだろうか。

主催者は一般学生

デモ終了後、セクトの主催だろうかとしり心しながら声をかけてみた。「阪大でデモとか見たことなくて、こういう活動やる団体があったんですか？ あったら興味あります」と半ば探りで質問した。すると、こう返ってきた。「個人で始めた活動です」「阪大の人ですか？」と聞けば「学部生です」とのこと。『○進』(「陰進」ではない方)を手渡されることもなく、偽っている様子も見えなかった。

今回のスタンディングの主催者は在学生であり、しかも個人で始めた活動であった。写真の留学生や一般市民らしき人々も、口コミや飛び込みで参加してただけで、主催側にいたわけではないようだ。

寄せられた賛否

今回、SNS上でも阪大生からの驚きと

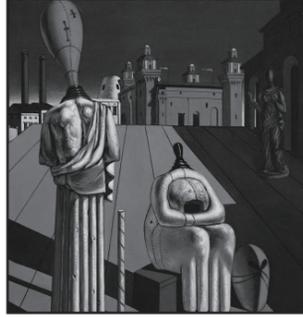
意見が集まった。注目すべきは、「デモ」という方法論自体への賛否——「否」が多めの——が集まったことだ。「うるさい」「怖い」といった、こういうものを見慣れた東大生から見ればウブであろう反応が多く見られた。

しかし、阪大ではそもそも「政治的な」議論や活動が行われていなかった。それだけに、今回の活動とそれが喚起した議論は阪大の学生自治にとつての転換点となるだろう。今回の件が、今後阪大において「デモ」——ひいては「学生運動」——がどう見られるかを決定すると言っても過言ではない。

その点において、今回のスタンディングがセクト等ではなく在学生の手によるものだったことは、「どうせこういう『抗議活動』は外部の人がやっているのではないか」という(今回数多く集まった)懸念を払拭するものであっただろう。また、運動への「免疫」がないところでいきなり運動を行ったらどうなるかの好例でもあった。

良くも悪くも、今回の影響は阪大の学生運動シーンに波及しているだろう。学生自治の萌芽は確実に生えてきている。今後、そんな阪大の学生運動の動きを追っていく。(文：パノプティコンの真ん中にいる人)

デ・キリコ展 鑑賞レポート



▲キリコ《不安を与えるミューズたち》

上野の東京都美術館で現在開催中のデ・キリコ展に足を運んだ。展示期間は四月二十七日から八月二十九日まで続く。キリコの若年から晩年の作品を網羅した、作品数八七に及ぶ大回顧展である。

デ・キリコはシュルレアリスムの先駆け的存在として知られている。しかし、キリコの形而上絵画には、シュルレアリスムに特有の浮遊感はない。緑色の空、せり上がる床面、キャンバスをひしめく静物、厳しいギリシア的モチーフ。これらはむしろ閉塞的で、圧迫感のある表現だろう。キリコが影響を受けたのは、フロイトの精神分析ではなく、ニーチェの永劫回帰だった。

このような違いは、シュルレアリスムと形而上絵画のわずかな時間的差異に見出すことができる。そしてそれは、決定的な違いでもあった。第一次世界大戦の反省を受け、「コクトー」は1936年に「秩序への回帰」を提唱する。彼の友人であったキリコもそれに同調し、古典主義に傾倒していくことになる。一方のブルトンによる「シュルレアリスム宣言」は1929年である。

無政府○○○○者

漫画：仁科夏瑚



アナコ・クリトリスト 堀郁夫

えー仁科さんは、本件をどうお考えでしょうか？ やはり、こうした問題に政府が介入することが正当化されるのか論点になるかと思われませんが。



アナコ・クリトリスト 仁科夏瑚

まさしくおっしゃる通りです。政府が国民の健康を保護するという名目で、国民の自由を制限するのは非常にまずいでしょう。



アナコ・クリトリスト 堀郁夫

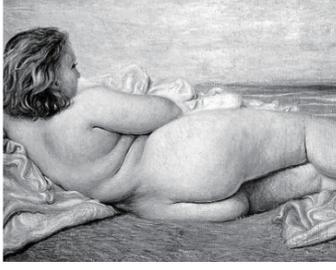
ええ、私もそう思います。ですがね、例えば前日の下痢で肛門が荒れているのに、あえて肛門を食べるようなことが果たして悪行権と……



アナコ・クリトリスト 堀郁夫

無政府肛門分析者

▼キリコ《横たわって水浴する女》



彼らがその時代に経験したのは、前衛と古典のすれ違いだった。本展覧会では、そうしたデ・キリコの、「古き」から見出される前衛性に注目してご覧いただきたい。(文：仁科夏瑚)

アメリカ大統領 外山恒一も絶賛。
イスラエルの侵略をパレスチナで応援 食べて

最前線
6月号 特集・愛
定価・一五〇〇円
郵送販売も承っております

マンゴー
Truth Social 日本人コミュニティは新規ユーザーを歓迎しています。
https://truthsocial.com

広告 募集中
360 X 628
陰核派機関紙 陰進
ライター 募集中！
詳細は陰核派HPもしくはDMまで